

脳スタイル分析 オススメのお仕事発見 編

※ 左脳・右脳 × 2次元・3次元 = 脳スタイル(脳の使い方のクセ)

グラフの目盛りの大きいところがあなたのよく使っている脳の領域。じぶんの得意な部分を参考に、未来の夢を考えてみましょう！

左脳 3次元

吉田 松陰

知識を組み立て
考えをまとめる
脳の領域

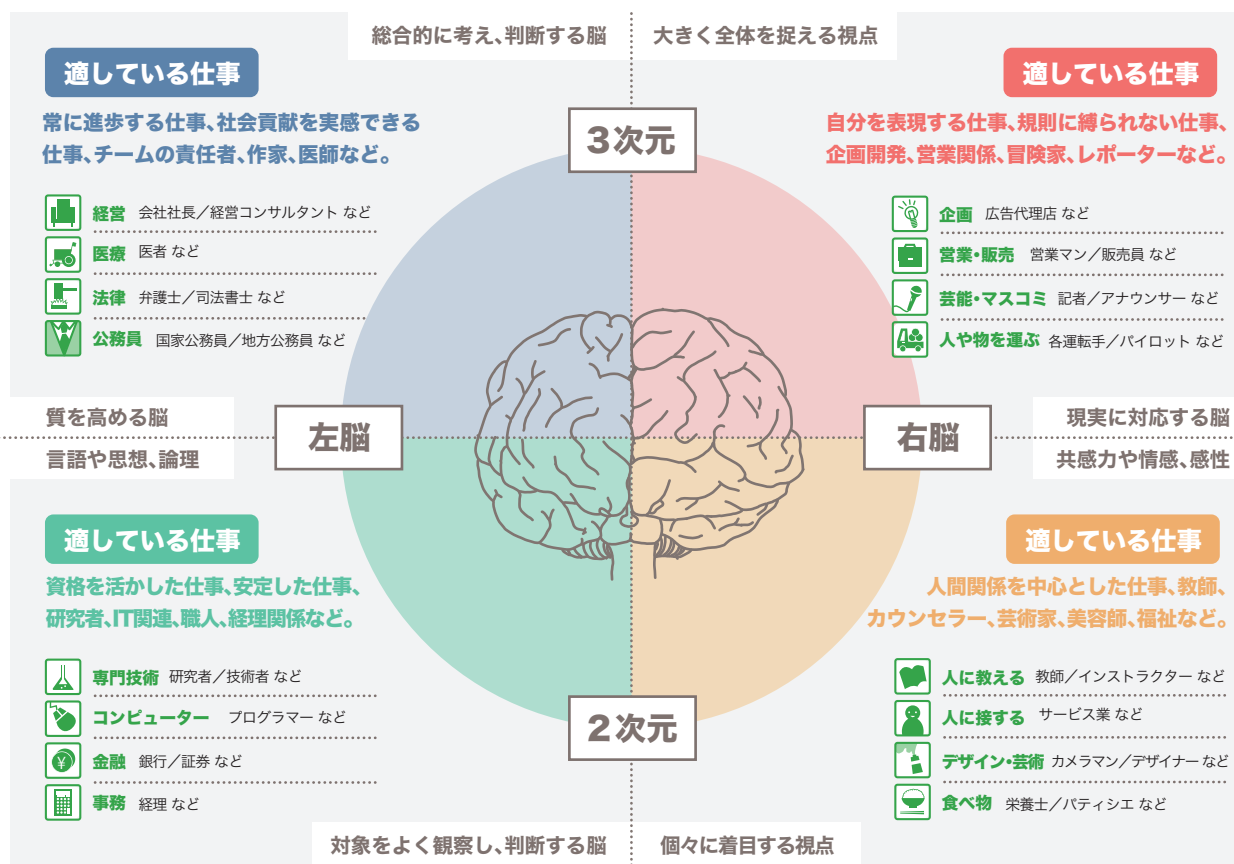
多くのデータを用いて解析し、優先順位をつけて原理を導き出すといった脳の使い方が特徴。

左脳 2次元

土方 歳三

言語の中心であり
知識の貯蔵先と
される脳の領域

詳しいデータを基にしてより深く考えたうえで、物事を決定するといった脳の使い方が特徴。



右脳 3次元

高杉 晋作

空間認識や注意力に関係し、行動を導く脳の領域

空間全体を把握し、その中で今一番関心があるものに対応しようとする脳の使い方が特徴。

右脳 2次元

西郷 隆盛

感情、視覚、音楽に関連し、想いで動く脳の領域

相手の気持ちを読むのが得意で、相手のことを考えて、調和を大事にする脳の使い方が特徴。

判定結果: グラフは割合(全て足すと100%)で表示されています。

アドバイス: 対応する脳の領域をよく使った歴史上の人物の生き方も参考に！

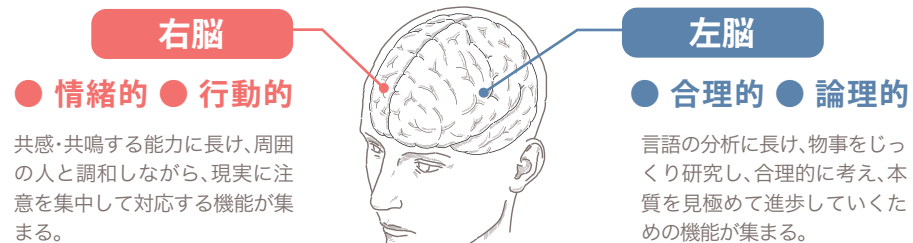
脳スタイル分析の概念



人にはそれぞれ、脳のある領域をよく使うクセがあって、従来の神経学や最新の脳科学の知見をもとにして解析するとその人が普段よく使う脳の使い方（＝その人らしさ）が脳科学的に分類できることが分かりました。

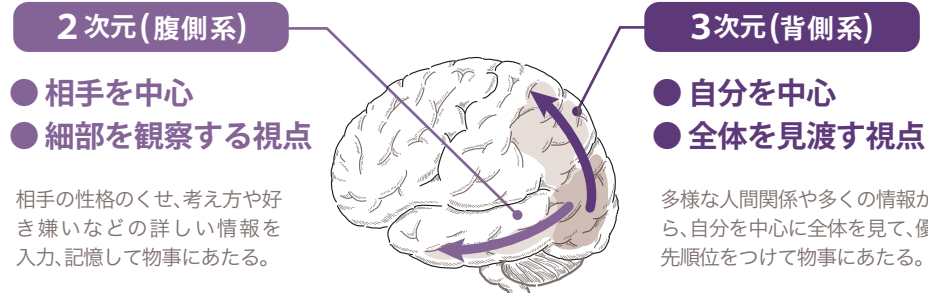
STEP① 大脳新皮質による解析

左脳・右脳の「大脳新皮質」の使い方から分析する



STEP② 神経繊維による解析

腹側系・背側系の「神経線維」の使い方から分析する



STEP③ 脳スタイル分類

「大脳新皮質」と「神経繊維」の使い方の組み合わせから分類する

**物事の本質を突き詰める
理性と合理性タイプ**

物事に取り組む時には、論理的に考え、合理性を重視する。今この時だけでなく、後の時代にも通じる本質を追求できる。

時にお調子者、自分の世界を広げていきたいタイプ

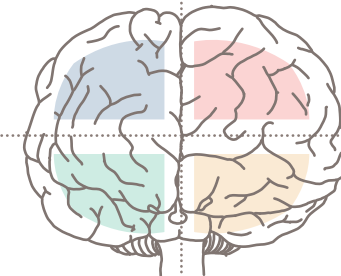
自分が関わる人間関係や環境を広げることを重視する。独創性に長け、周囲の人間を巻き込んでいくパワーを持っている。

左脳・3次元型

右脳・3次元型

左脳・2次元型

右脳・2次元型



**スペシャリストによく見られる
厳格な職人タイプ**

自分の信じていることを大事にし、それに基づいて行動する。細かい作業が得意、勉強熱心で粘り強く最後までしっかりと取り組む。

**相手を大事に
物事を考える
日本人に多いタイプ**

人間関係を重視し、自分ではなく相手のことを大事にして、物事を進める。一つのことをじっくりと研究するのが得意。

脳科学的に「全16脳スタイル」の分類を行う

自分に合う脳の使い方を伸ばすと、脳が活用できるようになります！

今回の検査は簡易分析になります。※詳細は 日本脳活協会 より